



Hiroshima Research Center for Healthy Aging (HiHA)

主催: 広島大学健康長寿研究拠点

HIROSHIMA UNIVERSITY

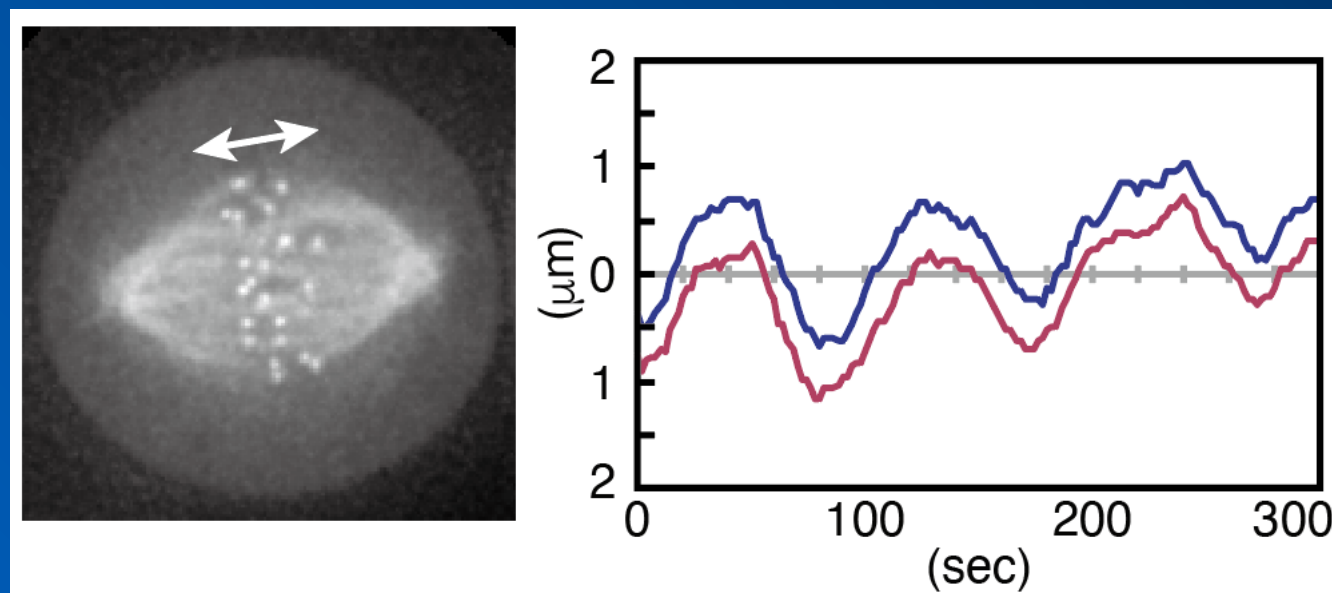
「染色体オシレーションによる 染色体安定性維持機構」

田中耕三教授
東北大学加齢医学研究所

世話人: 登田 隆特任教授
大学院統合生命科学研究科
生物工学ユニット

《概要》

多くのがん細胞では、染色体分配異常が高頻度で起こる状態、いわゆる染色体不安定性が存在するが、その成因については不明な点が多い。染色体を安定に維持するためには、染色体上の動原体が微小管と正しく結合することが必要であり、誤った結合はAuroraキナーゼなどのはたらきにより修正される。我々は、分裂中期における染色体の往復運動である染色体オシレーションが、染色体分配直前に誤った結合を修正するチェック機構としてはたっていることを見出した。この修正は、微小管との結合を担う動原体分子Hec1が、紡錘体上のAurora Aによってリン酸化されることによって起こる。染色体オシレーションは、がん細胞株において減弱しており、これががん細胞で染色体不安定性が生じる一因ではないかと考えられる。



* 本セミナーは、統合生命科学研究科セミナーとして、プログラム共同セミナーの対象です

開催日時: 令和3年 5月 12日(水) 16:00-17:00

Zoomによるwebセミナー

ミーティングID: 977 6035 2981

入室パスワード: 454213

お問い合わせ先 広島大学 大学院統合生命科学研究科
HiHA 事務局 (healthy-aging@hiroshima-u.ac.jp)